

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 184号【最新開催セミナーご案内！】

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【8月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□ ■ ————— 2024.7.30 Vol.184 ■ □

(株)技術情報センターのメルマガをご覧くださいありがとうございます。

7月23日から立秋前日の8月6日までが、二十四節気の大暑で、暑さの本番が始まりました。

そんな暑さの中、浴衣のさっぱりとした着心地は、何よりの夏の涼ではないでしょうか。

夏祭りや花火大会での浴衣姿は粋なものもの。

素足に下駄で出かけるのも気持ちよし。

浴衣を湯上がりに着るようになったのは、安土桃山時代のころからとか。

それが江戸時代に入り、普段着として広まっていきました。

着物には季節に合わせたしきたりが存在しますが、遊び着にあたる浴衣にはいかめしい

決まり事はありません。

また、夏の夜には蚊を通さずに風を通す蚊帳（かや）を吊って眠ったものです。

殺虫剤や網戸、クーラーが普及して、やがて蚊帳は使われなくなりました。

しかし、電気も薬品も使わないので、最近見直されてきています。

少し派手いやこのくらみ初浴衣

草間時彦

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第184号をお届けいたします。

今回も2024年8月開催17セミナーと新規取り扱い書籍情報1タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

■ ————— ■
i n d e x

■ ————— ■

◇セミナー情報[2024年8月開催セミナー/17件]

2024年8月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-08.html>

◇おすすめセミナーPick Up

8月21日(水)開催

「水電解水素製造及び活用に関する動向と要素技術開発」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20240810.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (1タイトル)

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202407.pdf>

■ ————— ■
セミナー情報

[2024年8月開催セミナー/17件]

■ ————— ■

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■8月19日(月)-----

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－
現場で役立つ電気の基礎知識
～専門外の方のための～

★会場★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240801.html>

■8月20日(火)-----

～プラントの長寿命化・メンテナンス低減と効率的運用のための～
バイオマス、廃棄物および廃プラ燃料を用いる
発電プラントの高温腐食防止の実際

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240813.html>

■8月20日(火)-----

飼育担当者からみた循環式陸上養殖の要点

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240802.html>

■8月21日(水)-----

水電解水素製造及び活用に関する動向と要素技術開発
－講師6名【旭化成、産業技術総合研究所、東京大学、東北電力、
神戸製鋼所、テュフ ラインランド ジャパン】ご登壇－

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240810.html>

■8月21日(水)-----

ー再エネ大量導入時代、レジリエンス強化のためのー
電力系統安定化と慣性低下対策に関する動向／技術開発
ー講師4名【東京電力ホールディングス、東光高岳、
富士電機、産業技術総合研究所】ご登壇ー

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240815.html>

■8月21日(水)・26日(月)-----

膜によるCO2分離回収と研究開発・要素技術動向

★日程別受講可能★

★会場★

★8月26日のみライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240808.html>

■8月22日(木)-----

リチウムイオン電池のリサイクル技術と研究開発動向
～講師4名(東北大学、愛媛大学、九州大学、島根大学)ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★I・II・IVのみアーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240812.html>

■8月22日(木)-----

カーボンプライシングの基礎と最新動向
～基本的考え方、国内外事例・産業影響、GX-ETSなど徹底解説～

★個別(各テーマ)受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240805.html>

■8月23日(金)-----

バイオマス燃料に関する事業動向と技術開発
～輸入バイオマスから、灌木、もみ殻、ブラックペレット製造、
トレファイドペレット、タール利用まで～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240814.html>

■8月23日(金)-----

蓄電池事業に関連する法制度・契約実務ならびに
蓄電池システムの技術開発とリユース電池の国際標準化／規格
～西村あさひ法律事務所、東芝エネルギーシステムズ、
東京電力ホールディングスの方々にご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★Iのみアーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240817.html>

■8月27日(火)-----

～DX、デジタルツインへの対応を見据えた～
3D Model構築と配管設計の要点

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240803.html>

■8月27日(火)-----

PFAS（有機フッ素化合物）の分解・再資源化と効率的除去・処理技術
～講師4名【神奈川大学、流機エンジニアリング、
東京工業大学、NX Filtration】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★II～IVのみアーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240811.html>

■8月28日(水)-----

微細藻類の事業開発・取組み・要素技術
～講師4名【IHI、ロート・F・沖縄、
オーピーバイオファクトリー、信州大学】ご登壇～

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240816.html>

■8月28日(水)-----

水素／アンモニアの導入方策・コスト及び
近時の法制度動向、契約・法的留意事項と
再エネ水素の経済性分析・低コスト化方策

- ★個別（各テーマ）受講可能★

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240809.html>

■8月29日(木)-----

～多数の動画を交えて解説する～

マイクロバブル・ナノバブルの基礎と応用及び生成装置の効果的な使い方

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240806.html>

■8月30日(金)-----

遠心分離機の選び方・使い方

～遠心分離のメカニズムから、各種遠心分離機の特長・実用例と
操作・保守管理における留意点まで～

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240804.html>

■8月30日(金)-----

グローバル基準の再エネ調達およびiRECの利活用と
SBT・GHGプロトコルにおける環境属性証明の展望・方向性

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240807.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

- 受講申し込み受付中セミナー一覧
- 2024年4月開催アーカイブセミナー
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04archive.html>
- 2024年6月開催アーカイブセミナー
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html>
- 2024年8月開催セミナー
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-08.html>
- 2024年8月開催アーカイブセミナー
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-08archive.html>
- 2024年12月開催セミナー
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-12.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ _____ ■
おすすめセミナーPick Up

■ _____ ■

今回のPick Upセミナーは

「水電解水素製造及び活用に関する動向と要素技術開発」セミナー

です。

本セミナーでは、水電解水素製造に関する装置・システム・要素技術・活用方法・適合性などにつ
いて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣から詳説頂きます。

- 講 師 旭化成株式会社 環境ソリューション事業本部
グリーンソリューションプロジェクト

水電解技術開発部 製品開発Gr長
リードエキスパート（電気化学） 内野陽介 氏

- 講師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
再生可能エネルギー研究センター 研究チーム長 伊藤 博 氏
- 講師 国立大学法人東京大学 先端科学技術研究センター 教授 河野龍興 氏
- 講師 東北電力株式会社 研究開発センター 主席研究員 加藤 尚 氏
- 講師 株式会社神戸製鋼所 機械事業部門
新事業推進本部 新事業企画部
水素チームリーダー／次長 小林祐之輔 氏
- 講師 テュフ ラインランド ジャパン株式会社
圧力機器部 アジアパシフィック地域統括
インダストリー&サイバーセキュリティ事業部 部長 中尾征嵩 氏
- 日 時 2024年 8月 21日（水） 10:00～18:00
- 会 場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。

※午前（プログラムI・II）のテキスト資料はセミナー開催日の直前にゆうパックにてお送り致します。

※午後（プログラムIII～VI）のテキスト資料はセミナー開催日の直前にデータ（pdf）でお送り致します。

★詳しくはお申込み時にお伝え致します。

※アーカイブ受講可能（事情により、II・III・Vのみ可能。）

（当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。）

1. 受講料は39,600円となります。（※ I とIVの視聴は出来ません）
2. 恐れ入りますが、講師への質問は受付できません。
3. 開催日より7～10営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
4. ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
5. 動画の公開期間は公開日より3日間となります。

- 受講料 ◆ 1日受講 55,000円【1名につき】
 - ◆ 午前（プログラムI・II）受講 29,700円【1名につき】
 - ◆ 午後（プログラムIII～VI）受講 44,000円【1名につき】
- ※上記全て、テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:00-11:00

I. アルカリ水電解システムAqualyzerの開発と今後の展望

旭化成株式会社は、2010年より再生可能エネルギー（再エネ）対応のアルカリ水電解技術を開発してきた。そして、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）事業による再エネを活用した水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」向けに、10MW級アルカリ水電解システムを設計開発し、2020年より本格運用を開始した。本講演では、当社のアルカリ水電解システム“Aqualyzer TM”の開発の状況と今後の展望について紹介する。

1. 旭化成の電解事業
2. グリーン水素のための水電解技術
3. 旭化成におけるアルカリ水電解の実証プロジェクト
4. 今後の展望
5. 質疑応答・名刺交換

（内野陽介 氏）

11:15-12:15

II. アニオン交換膜水電解の概要と開発動向

グリーン水素の大規模導入に向けて世界各国で低コスト・高性能水電解技術の開発が精力的に行われているところである。アニオン交換膜(AEM)水電解は比較的最近開発が始まった技術であるが、従来の水電解装置に比べても低コスト・高性能実現の大きなポテンシャルを有する。本講演では、従来の水電解技術と比較する形でAEM水電解装置の原理、特徴から最新の開発動向までを紹介し、その可能性と限界を概説する。

1. アニオン交換膜(AEM)水電解の原理と特徴
2. AEM水電解システム概要
3. 産総研におけるAEM水電解開発
4. アニオン交換膜水電解装置の国際的開発動向
5. 質疑応答・名刺交換

（伊藤 博 氏）

13:15-14:15

III. 再エネを用いた水電解活用水素エネルギーシステム

カーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギーの急激な増大が見込まれており、2030年に現在の3倍にする目標がCOP28において世界で合意されています。それに伴って、電力系統

のバランスを保つための調整力が必要とされており、その解決策として水電解を用いた水素製造の利用が期待されています。また同時に再エネの出力制御も増大するため、需給調整とインバランスに及ぼす水電解の影響についての評価も必要とされてきます。この2つの観点から、再エネを用いた水電解を活用した水素エネルギーシステムについて解説します。

1. 水電解方式について
2. 再生可能エネルギーの現状
3. 調整力及び出力制御と水素製造
4. 再エネを用いた水電解活用水素エネルギーシステム
5. 質疑応答・名刺交換

(河野龍興 氏)

14:30-15:30

IV. 水素製造技術を活用した再エネの出力変動対策に関する研究

再生可能エネルギーの普及拡大に伴い、電力の需給調整が課題となっている。これまで当社は、蓄電池技術を活用した対策に取り組んできたが、水素製造技術がこれらの課題に適用可能か検証することを目的として研究を実施している。具体的には、当社研究開発センター構内に試験設備（水素製造システム）を設置し、実際の再エネ発電電力を平滑化する実証研究を実施している。本講演ではこれまでに得られた成果について紹介する。

1. 再エネ普及拡大に伴う課題と対策
2. 水素製造システムの概要と研究項目
3. 水素製造システムの運転試験による特性評価
4. 今後の課題
5. 質疑応答・名刺交換

(加藤 尚 氏)

15:45-16:45

V. 工場における水電解グリーン水素を活用した水素ガス供給システムと熱エネルギーへの水素利活用について

工場の生産活動においては、化石燃料由来の電気や熱エネルギーが大量に使われておりカーボンニュートラル化を目指すため水素などCO₂フリーエネルギーの利用による脱炭素の取組が加速している。本講演では工場向けにグリーンな水素を供給する水電解水素発生装置と液化水素を併用することで、安定し安価な水素を供給するハイブリッド型水素供給システムを紹介する。また、実機規模のボイラーおよび加熱炉に水素を供給し都市ガスと混焼または水素専焼させる水素供給・利用実証の取組について紹介する。

1. KOBELCOグループのカーボンニュートラルへの挑戦

2. ハイブリッド水素供給システム
3. 燃焼式工業炉での水素利活用に向けた取り組み
4. 今後の展望
5. 質疑応答・名刺交換

(小林祐之輔 氏)

17:00-18:00

VI. 欧州における水電解装置の安全基準、要求事項と日本企業への示唆

水電解水素発生装置の製造が活発化する中で、テュフ ラインランドでは世界各国への輸出を見据えた問い合わせが増加している。水電解を用いる水素発生装置の技術的要件は国際規格 ISO22734:2019に定められており、各要素としての評価とライフサイクルに対する評価の両面が求められている。その一方で、輸出する際には技術基準のみではなく各国法規も複雑に絡んでくるため、製造者からは技術要求と法規制の両面に関する説明の要望がある。 認証機関の立場から、ISO22734と欧州の規則概要を説明し、水電解水素発生装置の適合性審査に関する手順を示したい。

1. ISO22734の説明
2. 欧州における水電解水素発生装置の適合手順に関する適合手順の紹介
3. 質疑応答・名刺交換

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20240810.html>

- _____ ■
- 主催セミナー アーカイブ一覧
- _____ ■

過去に開催致しましたセミナーの当日の様子を録画・編集した動画を配信致しております。
是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

□ ■ _____ ■ □
新規取り扱い書籍（1タイトル）

□ ■ _____ ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

---- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

次世代ウェアラブルデバイスに向けた
フレキシブル・伸縮性エレクトロニクス技術とセンサ開発
<https://www.tic-co.com/books/24stm090.html>

□ ■ _____ ■ □
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

□ ■ _____ ■ □

2024年5月1日から6月30日までの2ヶ月間のセミナー及び
書籍のWebページアクセス数ランキングを挙げてみました。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：： ★ セミナー ランキング ★
：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

第1位 「水素事業と技術開発への取組み・展望」
(2024年6月21日(金)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20240614.html> アクセス数 1637件

第2位 「SAF(持続可能な航空燃料)の製造技術と事業動向・取組み・展望」
(2024年6月28日(金)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20240617.html> アクセス数 1502件

第3位 「新たなバイオマス燃料に関する技術開発と事業動向」
(2024年6月14日(金)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20240616.html> アクセス数 1484件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202407S.html>

今回は第1位に
～講師3名（三菱化工機、東京ガスケミカル、川崎重工業）ご登壇～
水素事業と技術開発への取組み・展望
がランクイン。

斯界の最前線でご活躍中の企業の講師陣から、水素製造技術を核とした水素ステーション・水素サプライチェーン関連技術と取組み、水素供給事業の成立要件をふまえ利用分野に応じて求められる供給形態、技術実装からコスト見通し、国際液化水素サプライチェーンの構築に向けた取組みと水素の利用拡大・普及に向けた様々な開発プロジェクトなどについて詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして
2024年8月21日(水)に
水電解水素製造及び活用に関する動向と要素技術開発
－講師6名【旭化成、産業技術総合研究所、東京大学、東北電力、
神戸製鋼所、テュフ ラインランド ジャパン】ご登壇－
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240810.html>

ならびに、
2024年8月28日(水)に
水素／アンモニアの導入方策・コスト及び近時の法制度動向、
契約・法的留意事項と再エネ水素の経済性分析・低コスト化方策
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240809.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆ : : : : : : : : : :

第1位 『グリーン燃料とグリーン化学品製造』
<https://www.tic-co.com/books/23stm081.html> アクセス数 844件

第2位 『匂い・香りの科学と評価・可視化・応用技術』
<https://www.tic-co.com/books/23stm085.html> アクセス数 715件

第3位 『半導体製造プロセスを支える洗浄・クリーン化・汚染制御技術』
<https://www.tic-co.com/books/22stm079.html> アクセス数 649件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202407B.html>

今回は「グリーン燃料とグリーン化学品製造」
が書籍・調査資料アクセスランキング第1位に。

地球温暖化による異常気象が世界各地に甚大な被害をもたらしていて、GHG(温室効果ガス)ゼロに向けて、
太陽光・風力発電、燃料電池車、人工光合成による水素製造、バイオマスを用いた燃料や化学品の合成、
バイオエタノール・ディーゼル油・メタン・メタノール、アンモニア、MCH、液化水素の輸送、CO2地下貯留など、
既に多くの技術の検討が行われ、研究開発に膨大な費用が投じられています。しかし未だ温暖化対策の決め手になる
技術は絞られていないように思えます。

日本は再生可能エネルギーのコストを見極めた上で、早急に開発ターゲットを明確にしなければなりません。
そこで、グリーン燃料・化学品製造に関わる技術開発の最新動向とそれらのコストを解説する本書
が関心を集めての
ランクインでしょう。

関連セミナーとして

2024年8月21日(水)に

水電解水素製造及び活用に関する動向と要素技術開発

－講師6名【旭化成、産業技術総合研究所、東京大学、東北電力、
神戸製鋼所、テュフ ラインランド ジャパン】ご登壇－
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240810.html>

ならびに、

2024年8月28日(水)に

水素／アンモニアの導入方策・コスト及び近時の法制度動向、
契約・法的留意事項と再エネ水素の経済性分析・低コスト化方策

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240809.html>

ならびに、

2024年8月21日(水)に

－再エネ大量導入時代、レジリエンス強化のための－
電力系統安定化と慣性低下対策に関する動向／技術開発
－講師4名【東京電力ホールディングス、東光高岳、
富士電機、産業技術総合研究所】ご登壇－
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240815.html>

ならびに、

2024年8月23日(金)に

バイオマス燃料に関する事業動向と技術開発
～輸入バイオマスから、灌木、もみ殻、ブラックペレット製造、
トレファイドペレット、タール利用まで～
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240814.html>

ならびに、

2024年8月23日(金)・26日(月)に

膜によるCO2分離回収と研究開発・要素技術動向
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240808.html>

ならびに、

2024年8月22日(木)に

カーボンプライシングの基礎と最新動向
～基本的考え方、国内外事例・産業影響、GX-ETSなど徹底解説～
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240805.html>

ならびに、

2024年8月30日(金)に

グローバル基準の再エネ調達およびiRECの利活用と
SBT・GHGプロトコルにおける環境属性証明の展望・方向性
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20240807.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ _____ ■ □

E-mail変更・不要について

□ ■ _____ ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □

季語に遊ぶ

□ ■ _____ ■ □

文月、葉月に観たい北斎の「富嶽三十六景」と俳句

めぐりくる季節に合う名画と俳句、今年は葛飾北斎（かつしかほくさい）（1760～1849）の代表作で、日本美術の歴史を語る上で欠かすことのできない傑作として、国内外の人々に広く愛されている「富嶽三十六景」を紹介しています。

今回はその四回目として文月、葉月に観たい作品と俳句です。

19世紀後半のヨーロッパ芸術界を席卷した「ジャポニズム」。

その火付け役となったのは、日本からフランスに輸出された陶磁器を包む緩衝材として使われていた「北斎漫画」だと伝えられています。

これがある芸術家の目にとまり、そのデザイン力と多くのモチーフをいくつものパターンで表現する発想力に驚き、それがきっかけで、北斎や広重を筆頭とする日本の浮世絵など彼らの芸術作品が注目を集め、瞬く間にヨーロッパ中に広がって行きました。

フィンセント・ファン・ゴッホ、エドゥアール・マネ、エドガー・ドガをはじめ印象派の名画家たちが心酔し、天才ガラス工芸家エミール・ガレなど工芸の世界で活躍する芸術家たちも北斎や広重の作品の影響を色濃く受けました。

2020年、日本のパスポートが28年ぶりにリニューアルされ、査証ページの背景に「富嶽三十六景」の作品が敷かれるようになりました。

また、今月発行された新千円札の裏面に「神奈川沖浪裏」が採用されています。

まさに今、注目されている「富嶽三十六景」のうち文月、葉月に観たい作品と俳句をお楽しみ下さい。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202407.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井貴大

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com